令和4年度　生活福祉部長マニフェスト（総括）

生活福祉部長	久松　希美子

【基本方針】

「いつまでも住み続けたいと思うまちづくり」「共に支え、元気と安らぎあるまちづくり」のため、子育て環境や社会福祉、相談体制の充実に取り組みます。また、持続可能な循環型社会の構築に向け、環境問題への意識啓発に努めるとともに、ごみの減量化・資源化に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、関係機関と連携し適切なワクチン接種に取り組みます。

【重点目標】

1　社会福祉の充実

達成状況：一部達成

○内容

- ■ 自力で避難が困難な住民の不安を解消するため「避難行動要支援者支援事業」の周知に努め、要支援者の名簿登録率の向上に取り組みます。（R3実績70.7%→R4目標72.0%）
- ■ 要支援者の個別避難計画策定支援に努め、令和4年度は策定率25%を目指します。
- ■ 高齢者の孤立化を防ぎ、元気で生き生きと暮らせるよう、いきいき百歳体操やふれあいサロン、各種出前講座等を開催し、健康寿命の延伸、重度要介護認定率の減少を目指します。
- 重度要介護認定率（R3実績6.52%→R4目標6.40%）
- 通いの場等の新規開設数（R4目標2団体）
- 各種出前講座・講演会等の実施回数（R4目標30回）

●取組結果

- ■ 避難行動要支援者支援事業について、地区民生・児童委員協議会において説明を行い、登録が必要と思われる方々への情報提供に努め、令和5年2月末現在での登録者数は72.4%となっています。
- ■ 要支援者の個別避難計画策定について、令和5年2月末現在　34件（8.13%）（計画提出34件／名簿登録かつ同意あり418人）となっています。今後とも策定率向上に向け、介護保険事業所等関係機関と連携し、早期の策定に取り組みます。
- ■ 高齢者の孤立化防止・健康寿命の延伸等のため各種事業を行いました。コロナ禍で休止している箇所もありますが、状況を見ながら再開に向け支援していきます。

令和5年2月末現在の状況等は以下のとおりです。

- 重度要介護者認定率　6.40%（※令和5年1月末現在）
- 通いの場等の開設状況
  いきいき百歳体操
  R3：69カ所→R4：72カ所（うち休止9）
  ふれあいサロン
  R3：90カ所→R4：95カ所(うち休止13)
- 各種出前講座・講演会等の実施
  159回（参加人数　延2,044人）

2　各種相談支援体制の充実

達成状況：達成

○内容

- ■ 地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の整備に向け、関係各課等において協議を行い、重層的支援体制の構築に向けた取り組みを進めます。（各相談窓口等の連携強化に向けた勉強会等の開催 R4目標3回）
- ■ 成年年齢引き下げに伴う消費トラブル等を未然に防ぐため中高生を含めた出前講座の開催や、広報等による注意喚起、相談先の周知に努めます。（出前講座の開催 R4目標2回以上）

●取組結果

- ■ 重層的支援体制構築に向けた関係各課等との意見交換会・勉強会を5回開催しました。相談体制のさらなる充実に向け、今後とも関係機関等と連携し検討を進めていきます。
- ■ 成年年齢引き下げに伴う消費トラブル等の未然防止のため、広報での注意喚起、ポスターの掲示、中高生に対する出前講座等による注意喚起を行いました。今後とも各種消費トラブル等の発生状況や手口等の情報収集、周知を行い、トラブルの未然防止に努めます。
  出前講座　中学校1回、高校1回
  チラシ配布　2回

3　子育て環境の充実

達成状況：一部達成

○内容

- ■ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実や教育・保育施設の適切な運営・管理など、安心して子育てができる環境の整備に努めます。
- ■「子育て世代包括支援センター」に新たに助産師を配置し、産後ケア事業の充実を図ります。（利用件数 R4目標50件）
- ■ 就学前の発達支援が必要な子どもとその親に対し、専門スタッフによる親子教室を実施し、相談・助言及び療育指導の充実を図ります。
- ■ 子育て情報発信ツールとして導入した子育て応援アプリ「くじこぷり」の利用者数増に努めます。（累計ユーザー数 R3実績221人→R4目標400人）

●取組結果

- ■ 産後ケア事業充実のため、子育て世代包括支援センターに新たに助産師を配置するなど、産後ケア事業の充実に努めました。現在、子育て支援センターに沐浴指導ができる設備や、休息できる場所を整備しており、令和5年度早期の供用開始を目指して取り組んでいます。
- 産後ケア事業利用数
  令和5年2月末現在　延べ53件
- ■ 早期療育事業について、専門スタッフのいる事業者への委託を行い、毎月1回開催しました。
- ■ 子育て応援アプリ「くじこぷり」の利用者数の増加に努めました。今後とも各ツールを活用し、情報発信に努めます。
  令和5年2月末現在　336人

4　環境対策の推進

達成状況	達成

○内容

■ ごみの分別・資源化に関する情報の周知啓発を行い、市民一人当たりのごみ排出量の抑制に努めます。（R3排出量363.6kg→R4排出量359.0kg（1.3%減））

■ 環境問題への関心を高めるため、環境学習会や講演会等を開催するほか、各種媒体を活用し意識醸成に努めます。（学習会会・講演会等開催 R4目標2回以上）

●取組結果

■ ごみの分別・資源化について、広報等での周知を行いました。今後とも排出量の抑制のため、適正な分別等について周知に努めます。

- 広報、チラシ等の発行回数
  令和5年2月末現在　13回

■ 環境問題に対する講演会等を開催し、意識啓発等を行いました。

- 環境学習会（対象：小学生とその家族）
  参加者数　34人
- 地球温暖化対策フォーラム（対象：市民）
  参加者数　86人

5　新型コロナウイルス感染防止対策の推進

達成状況	達成

○内容

■ 感染防止対策について、各種媒体を活用し情報収集・情報発信に努めます。

■ 3回目のワクチン接種、小児へのワクチン接種が適切に実施できるよう、関係機関と連携し接種体制の整備に努めるとともに、接種率の向上に取り組みます。

●取組結果

■ 感染防止対策について、情報を収集し、市長メッセージや市ホームページ等を活用し、基本的な感染対策の徹底について呼びかけを行いました。

■ ワクチン接種について、国からの指示を受け、医師会等と連携し、オミクロン株対応ワクチンの接種や小児及び乳幼児接種等について接種機会を設け随時対応しました。今後も国の方針に従い対応していきます。

※令和5年2月末現在の接種状況
1回目　29,526回（98.2%）
2回目　29,377回（97.7%）
3回目　25,776回（85.7%）
オミクロン株対応ワクチン　17,433回（58.0%）